

「高電子移動度トランジスタ HEMT」 IEEE Milestone 贈呈式 および 記念講演会 (2019 年第 11 回東京支部講演会) 開催

●IEEE Milestone 贈呈式

1979 年に発明された「高電子移動度トランジスタ HEMT」が IEEE マイルストーンに認定されました。2019 年 12 月 18 日、IEEE マイルストーン記念式典が、帝国ホテル 東京にて開催され、福田 敏男 IEEE 次期会長より、株式会社富士通研究所 原 裕貴代表取締役社長に、業績を記した銘板が贈呈されました。「[高電子移動度トランジスタ HEMT](#)」は、日本で 35 番目に認定された [IEEE マイルストーン](#)です。

銘板に記された業績は次の通りです。

・高電子移動度トランジスタ HEMT、1979年 (High Electron Mobility Transistor, HEMT, 1979)

“1979 年に発明された HEMT はエネルギーギャップの異なる 2 つの半導体の界面をデバイス構造に組み込んだ最初のトランジスタである。HEMT はチャネルキャリアの移動度が高いため、従来のトランジスタよりも高速動作が可能である。HEMT は電波望遠鏡や衛星放送受信機、モバイル通信の基地局などで広く利用されており、情報通信社会を支える基盤技術の発展に貢献した。”

帝国ホテル 東京 中 2 階 光の間にて、IEEE 東京支部主催の贈呈式を開催しました。参加者は 66 名でした。司会は、滝嶋 康弘 IEEE 東京支部 Secretary が務めました。最初に、徳田 英幸 IEEE 東京支部 Chair が主催者挨拶をし、続いて、福田 敏男 IEEE 次期会長が IEEE 本部挨拶をしました。次に、福田 敏男 IEEE 次期会長から富士通研究所 原 裕貴 社長に、銘板が贈呈されました。銘板の受贈者を代表して、富士通研究所 原 裕貴 社長が挨拶しました。贈呈式の後、徳田 英幸 IEEE 東京支部 Chair より、今回の IEEE Milestone の提案者である富士通研究所 原 直紀 特任研究員に、感謝状を渡しました。銘板は、富士通研究所 厚木(神奈川県厚木市森の里若宮 10-1)に展示されています。

続いて、富士通研究所の主催で記念祝賀会が盛大に開催されました。参加者は 66 名でした。会場の外には、HEMT の実物が展示されていました。祝賀会は、西原 明法 IEEE R10 Director の来賓祝辞から始まり、続いて榊 裕之 トヨタ学園 常務理事が来賓の祝辞を送りました。富士通株式会社 古田 英範 代表取締役副社長、CTO/CIO、富士通研究所 取締役会長の乾杯で宴が始まりました。



高電子移動度トランジスタ HEMT の実物展示



IEEE Milestone 銘板



贈呈式記念写真

(左から) 徳田 英幸 IEEE 東京支部 Chair、福田 敏男 IEEE 次期会長、富士通研究所 原 裕貴 社長、富士通研究所 三村 高志 名誉フェロー

●記念講演会 ([2019 年第 11 回東京支部講演会](#))

記念祝賀会の後、[東京支部 Technical Program Committee](#) 主催で、参加者 88 名を集めて、記念講演会 (2019 年第 11 回東京支部講演会) を開催いたしました ([共催 : IEEE 東京支部 LMAG \(Life Member Affinity Group\)](#))。菅野 敦史 東京支部 Technical Program Committee Secretary の司会で、次の 5 件の講演が行われました。

講演 1

白川 功 氏 (Japan Council History Committee Chair)

「IEEE Milestones の概要」

講演 2

三村 高志 氏 (富士通研究所 名誉フェロー)

「HEMT の発明と初期の研究開発」

講演 3

榊 裕之 氏 (トヨタ学園 常務理事)

「半導体ヘテロ構造の物理と HEMT の物理学への波及効果」

講演 4

竇迫 巖 氏 (情報通信研究機構 未来 ICT 研究所長)

「未来社会における HEMT の役割」

講演 5

渡部 慶二 氏 (富士通研究所 デバイス&マテリアル研究センター長)

「HEMT の実用化と ICT 社会発展への貢献」

[\[講演会の模様\]](#)

(報告 : History Committee Vice Chair 山田崇史)

2020新Fellow昇格者のお知らせ

次の5名の方が [2020 新 Fellow](#) に昇格しました (名前のアルファベット順)。

Tokyo Section
Akihiko Kandori <i>for contributions to superconductive magnetocardiography and diagnostic technology</i>
Atsuo Takanishi <i>for contribution to the development of humanoid robots</i>
Mutsuhiro Mori <i>for contributions to high voltage insulated gate bipolar transistors for traction and high voltage systems</i>
Yuji Suzuki <i>for development of electret materials</i>
Zhenjiang Hu <i>for contributions to robust software development</i>

IEEE東京支部事務局からのお知らせ

Tokyo Bulletin はメールにて発行させて頂いております。

2020年IEEEフェローノミネーションの申請受け締め切りは2020年3月1日です。締め切りまでに手続きをお済ませ下さい([詳細はこちら](#))。

2020年のメンバーシップ更新はお済みでしょうか? [Web Account](#) をご登録されますと、本部ホームページからオンラインで [更新お手続き](#) ができます。

東京支部では会員の皆様のシニアメンバーへのアップグレードを推奨しております。本部ホームページ上で [Online 申請](#) ができます。詳細については [Senior Member 申請方法](#) をご参照ください。

住所等のご変更は、必ず IEEE 本部に届け出てください。 [Web Account](#) をご登録されますと、[Online](#) でのご変更が可能です。

会員の皆様からのご意見、ご要望などのお問い合わせは tokyosec@ieee-jp.org までお願いいたします。